

第2次まんのう町総合計画策定のための
住民意見交換会 報告書

まんのう町

目 次

第1章 第2次まんのう町総合計画策定のための住民意見交換会について.....	1
第1節 開催の概要.....	2
第2節 住民意見交換会の各プログラム.....	3
第2章 意見の要旨.....	10
第1節 意見の要旨.....	10
1 元気まんまん まんのう町ワールドカフェ.....	10
2 まちづくりワークショップ.....	16
3 中学生ワークショップ.....	23
第3章 総括.....	27
第1節 住民意見交換会から得られたまんのう町の特徴.....	27
第2節 住民意見交換会から得られた総括.....	28

第1章 第2次まんのう町総合計画策定のための住民意見交換会について

まんのう町では、令和2年を初年度とした「第2次まんのう町総合計画」の策定をすすめています。総合計画策定にあたって、住民が住みよいまちとはどのようなまちか、またそうしたまちを実現するためにどんな手段をとるべきか、について、以下のとおり住民意見交換会を実施して住民ニーズの意向を聴取しました。

第2次まんのう町総合計画策定に向けた住民意見交換会

調査名	詳細	実施時期
(1) 町民意見交換会 (元気まんまん まんのう町ワールドカフェ)	町民の皆様にご直接集まっていただき、今後のまちづくりの方向性を検討するための町民のご意見やご要望をいただく。	平成31年4月
(2) 町民意見交換会 (まちづくりワークショップ)	町民の皆様にご直接集まっていただき、まんのう町が実現すべきことやそのための施策について話し合い、町にご意見いただく。	令和元年5月
(3) 中学生意見交換会 (ワークショップ)	満濃中学校の代表の生徒にご直接集まっていただき、まんのう町が実現すべきことやそのための施策について話し合い、町にご意見いただく。	令和元年5月

こうした意見聴取・検討過程を経て……

第2次まんのう町総合計画における以下の事柄を中心として、住民ニーズの意向をとりまとめて記述します。

- ①実現すべき目標「将来、まんのう町をどんなまちにしたいですか」
- ②目標達成に向け、町民・団体事業者・行政ができること

第1節 開催の概要

調査名	開催日時	開催趣旨
(1) 町民意見交換会 (元気まんまん まんのう町ワールドカフェ)	平成31年 4月20日(土) 9:30~11:30 4月20日(土) 13:30~15:30	○今後のまちづくりの方向性を検討するための町民の意見や要望の聴取 ○職員の参画による開かれた計画づくりの推進 ○まんのう町の現在・未来についての町民の生の声の聴取
		開催内容 まんのう町について次のようなテーマで自由に意見交換し発表する。 「次の世代に残したいまんのう町の良さは何ですか」 「10年後、まんのう町は今と比べるとどこがどのように変わっていますか」 「まんのう町の魅力をさらに高めるためには何が必要だと思いますか」
調査名	開催日時	開催趣旨
(2) 町民意見交換会 (まちづくりワークショップ)	令和元年 5月11日(土) 9:20~11:40 【環境・ひとづくり部会】 【安心・安全部会】 5月11日(土) 13:30~15:50 【創造・改革部会】 【地域資源活用部会】	○住民主体のまちづくりのための目標(指標)設定 ○目標設定のために住民・団体・行政がすべきことの設定 ○住民意見の計画反映についての見える化
		開催内容 以下の4部会を2日間の日程の中で各1回実施し、自由に意見交換し発表する。 【①環境・ひとづくり部会】「美しい地域を維持していくためには」 【②安心・安全部会】「災害から地域を守るためには」 【③創造・改革部会】「6次産業・地域のブランド化のためには」 【④地域資源活用部会】「町内の施設を適切に活用していくためには」
調査名	開催日時	開催趣旨
(3) 中学生意見交換会(ワークショップ)	令和元年 5月19日(日) 9:30~11:15	○住民主体のまちづくりのための目標(指標)設定 ○町内在住の若年層の意見聴取 ○満濃中学校の教育目標である「自ら考え、正しく判断し、自ら行動できる生徒の育成」の達成のための主権者教育の一環
		開催内容 以下の内容について、自由に意見交換し発表する。 ○あなたの暮らしの中で幸福や豊かさを感じること。 ○今後のまんのう町のために、誰がどのような役割をはたしたらよいかということ。

第2節 住民意見交換会の各プログラム

今回の3種類の意見交換会のプログラムは以下のとおりです。

元気まんまん まんのう町ワールドカフェ① プログラム

4月20日（土）9:30～11:30【120分】

開会・オリエンテーション

時 間		内 容
9:30～9:31	1分	開会
9:31～9:35	4分	あいさつ
9:35～9:45	10分	まんのう町の現状説明（人口推計、アンケート結果について）
9:45～9:50	5分	ワールドカフェの進め方の説明

ワールドカフェタイム

時 間		内 容
9:50～10:00	10分	【自己紹介】 ・各グループ内で自己紹介（1人1分程度：名前、最近気になること、ワールドカフェに参加した理由など）とグループリーダーの選出
10:00～10:20	20分	【意見交換1回目】 ・グループリーダーを中心に意見交換、模造紙に意見の貼り付け ①第1ラウンド（まんのう町の良さの確認） 「次の世代に残したいまんのう町の良さは何ですか」
10:20～10:40	20分	【意見交換2回目】※各グループ1名を除き全員席替え ②第2ラウンド（まんのう町の未来の確認） 「10年後、まんのう町は今と比べるとどこがどのように変わっていますか」
10:40～11:00	20分	【意見交換3回目】※各グループ1名を除き全員席替え ③第3ラウンド（①と②の実現のための方策） 「まんのう町の魅力をさらに高めるためには何が必要だと思いますか」
11:00～11:10	10分	発表に向けて、最初のグループに戻り、意見調整
11:10～11:28	18分	発表（1グループ3分程度で発表）及び総括

閉会

時 間		内 容
11:28～11:30	2分	閉会

元気まんまん まんのう町ワールドカフェ② プログラム

4月20日（土）13:30～15:30【120分】

開会・オリエンテーション

時 間		内 容
13:30～13:31	1分	開会
13:31～13:35	4分	あいさつ
13:35～13:45	10分	まんのう町の現状説明（人口推計、アンケート結果について）
13:45～13:50	5分	ワールドカフェの進め方の説明

ワールドカフェタイム

時 間		内 容
13:50～14:00	10分	【自己紹介】 ・各グループ内で自己紹介（1人1分程度：名前、最近気になること、ワールドカフェに参加した理由など）とグループリーダーの選出
14:00～14:20	20分	【意見交換1回目】 ・グループリーダーを中心に意見交換、模造紙に意見の貼り付け ①第1ラウンド（まんのう町の良さの確認） 「次の世代に残したいまんのう町の良さは何ですか」
14:20～14:40	20分	【意見交換2回目】 ※各グループ1名を除き全員席替え ②第2ラウンド（まんのう町の未来の確認） 「10年後、まんのう町は今と比べるとどこがどのように変わっていますか」
14:40～15:00	20分	【意見交換3回目】 ※各グループ1名を除き全員席替え ③第3ラウンド（①と②の実現のための方策） 「まんのう町の魅力をさらに高めるためには何が必要だと思いますか」
15:00～15:10	10分	発表に向けて、最初のグループに戻り、意見調整
15:10～15:28	18分	発表（1グループ3分程度で発表）及び総括

閉会

時 間		内 容
15:28～15:30	2分	閉会

ワールドカフェとは・・・

ワールドカフェの概要

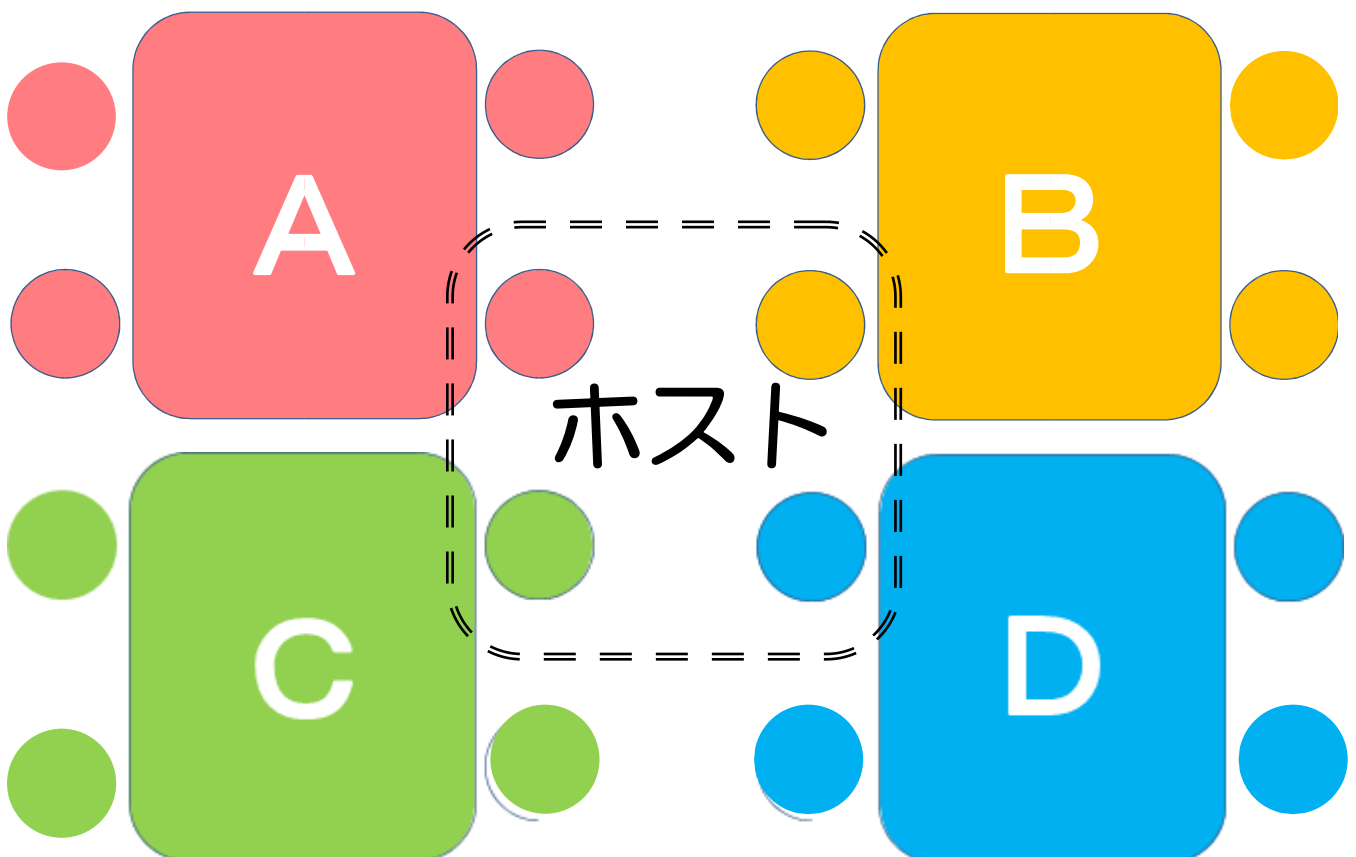
会議室で日々繰り返される機能的な会議よりも、「カフェ」で行なうような、オープンで自由な会話を通してこそ、活き活きとした意見の交換や、新たな発想の誕生が期待できる、という考え方に基づいた話し合いの手法のことをいいます。

ワールドカフェの流れ

- ①カフェスタイルのテーブルに5～6人で座ります。
- ②各テーブルで1人ホストを決めます。
- ③20分の会話を3ラウンド行い、各ラウンドでホスト以外のメンバーを入れ替えます。
- ④テーブルの上に広げてある模造紙に、自由に書き込みをします。
- ⑤3ラウンド終了後、最初のテーブルに戻り、メンバーが持ち帰ってきたさまざまな意見を共有したり、気づきや自分自身の変化などについても伝えあったりします。
- ⑥今日の成果を発表します。

各ラウンドの進め方

- 各テーブルで、ラウンドごとのテーマについて自由に話し合います。
(テーブル配置は一例です。参加人数により変動します。)
- お互いに尊重し合いながら意見を出し合います。
- テーブルの上に広げてある模造紙に、自由に書き込みをします。
(ふせん、マジックなどを使用してもO.K.)



まちづくりワークショップ① プログラム

5月11日（土）9:20～11:40 【140分】

【環境・ひとづくり部会】「美しい地域を維持していくためには」

【安心・安全部会】「災害から地域を守るためには」

開会・オリエンテーション

時 間		内 容
9:20～9:21	1分	開会
9:21～9:25	4分	あいさつ
9:25～9:35	10分	まんのう町の現状説明（人口推計、アンケート結果について）
9:35～9:40	5分	まちづくりワークショップの進め方の説明

ワークショップタイム

時 間		内 容
9:40～9:50	10分	【自己紹介】 ・各グループ内で自己紹介とグループリーダー、書記、発表者の選出
9:50～10:15	25分	【作業①カード記入】 2部会を同時に進行する。各部会のテーマは次の通り。 【環境・ひとづくり部会】・・・「美しい地域を維持していくためには」 【安心・安全部会】・・・「災害から地域を守るためには」 このテーマに基づき、 「まんのう町の強み」「まんのう町の弱み」をカードに記入する。
10:15～10:40	25分	【作業②カード読み上げ、カード並び替え】 記入したカードを各自が読み上げ、グループ内で共有する。
10:40～11:05	25分	【作業③取りまとめと実現していきたい姿の記入】 「まんのう町の強みと弱み」から、どのようなことが実現すれば、よりよいまんのう町になるかのアイデアを記入し、グループで共有する。
11:05～11:25	20分	発表
11:25～11:38	13分	総括

閉会

時 間		内 容
11:38～11:40	2分	閉会

まちづくりワークショップ② プログラム

5月11日（土）13:30～15:50 【140分】

【創造・改革部会】「6次産業・地域のブランド化のためには」

【地域資源活用部会】「町内の施設を適切に活用していくためには」

開会・オリエンテーション

時 間		内 容
13:30～13:31	1分	開会
13:31～13:35	4分	あいさつ
13:35～13:45	10分	まんのう町の現状説明（人口推計、アンケート結果について）
13:45～13:50	5分	まちづくりワークショップの進め方の説明

ワークショップタイム

時 間		内 容
13:50～14:00	10分	【自己紹介】 ・各グループ内で自己紹介とグループリーダー、書記、発表者の選出
14:00～14:25	25分	【作業①カード記入】 2部会を同時に進行する。各部会のテーマは次の通り。 【創造・改革部会】・・・「6次産業・地域のブランド化のためには」 【地域資源活用部会】・・・「町内の施設を適切に活用していくためには」 このテーマに基づき、 「まんのう町の強み」「まんのう町の弱み」をカードに記入する。
14:25～14:50	25分	【作業②カード読み上げ、カード並び替え】 記入したカードを各自が読み上げ、グループ内で共有する。
14:50～15:15	25分	【作業③取りまとめと実現していきたい姿の記入】 「まんのう町の強みと弱み」から、どのようなことが実現すれば、よりよいまんのう町になるかのアイデアを記入し、グループで共有する。
15:15～15:35	20分	発表
15:35～15:48	13分	総括

閉会

時 間		内 容
15:48～15:50	2分	閉会

中学生まちづくりワークショップ プログラム

5月19日（日） 9:30～11:15 【105分】

開会・オリエンテーション

時 間		内 容
9:30～ 9:35	5分	開会、主催者あいさつ
9:35～ 9:45	10分	まんのう町の現状の説明とワークショップの進め方の説明

ワークショップタイム

時 間		内 容
9:45～ 9:55	10分	【自己紹介】 ・「まんのう町のことをどう思っているか」「10年後にどこに住んでどんな暮らしをしているか」を交えて、各グループ内で自己紹介。 ・グループリーダー、書記、発表者の選出
9:55～10:15	20分	【作業①ふせん記入】 「あなたの暮らしの中で幸福や豊かさを感じること」について。
10:15～10:30	15分	【作業②カード読み上げ、ふせん並び替え】 記入したふせんを各自が読み上げ、グループ内で共有する。
10:30～10:50	20分	【作業③取りまとめと実現していきたい姿の記入】 作業①、②から、「今後のまんのう町のために、誰がどのような役割をはたしたらよいかということ」のアイデアを記入し、グループで共有する。
10:50～11:08	18分	発表
11:08～11:13	5分	総括

閉会

時 間		内 容
11:13～11:15	2分	閉会

ワークショップとは・・・

ワークショップの概要

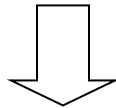
ワークショップは、「住民と行政が協働で、積極的・主体的にまちづくりを考え、実行していく」ための1つの手法のことです。

ワークショップの流れ



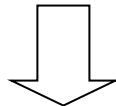
① カード記入

与えられたテーマについて、自分の意見、思いをカード（ふせん）に記入します。



②カード並べ

グループごとに、みんなが書いたカードを模造紙上に並べ、同じような内容のものを集めたり、全体の関係性を話し合ったりしながら、分類・とりまとめ方法を考えます。



③成果のとりまとめ

色マジックなどを活用しながら、分類したカード群に見出し（タイトル）をつけたり、補足説明を書いたりし、みんなの意見を模造紙上で整理し、とりまとめ、最後にグループごとに発表します。



第2章 意見の要旨

第1節 意見の要旨

I 元気まんまん まんのう町ワールドカフェ

	参加者総数	一般参加者数	職員参加者数
1回目 (AM)	17	11	6
2回目 (PM)	15	7	8

(I) 全体的な意見

ラウンド	意見の傾向
①第1ラウンド (まんのう町の良さの確認) 「次の世代に残したいまんのう町の良さは何ですか」	豊かな自然に恵まれているまちで、地域のつながりもしっかりとしている、自治会体制がしっかりしていて、子育てしやすいまちであることなどが多くあげられました。
②第2ラウンド (まんのう町の未来の確認) 「10年後、まんのう町は今と比べるとどこがどのように変わっていますか」	特産品が増え、観光客が増えるという期待の要素や、少子高齢化が進み、独居高齢者が増えること、空き家や耕作放棄地が増えることなど、少子高齢化の進行に関する不安の要素などがあげられました。
③第3ラウンド (①と②の実現のための方策) 「まんのう町の魅力をさらに高めるためには何が必要だと思いますか」	SNSなどを活用したまちの自然や特産品などのPRの推進。空き家の活用や廃校利用などで移住者を呼び込む取組などがあげられました。

(2) 全意見【開催回のテーブルごと】

第1ラウンド (良さの確認)

「次の世代に残したいまんのう町の良さは何ですか」

チーム名：ブランド (1回目)

主な意見 (ふせん数9件)

- ◎ 自然が豊かである。
- ◎ 公園が充実している。
- ◎ 地域の繋がりが密接である。
- ◎ 歴史がある (伝統芸能、伝統行事 (お祭り) 等)。
- ◎ 自治会体制が充実している。
- ◎ 福祉が充実している。

チーム名：グッドカントリー（1回目）

主な意見（ふせん数 13 件）

- ◎ 自然が豊かである。
- ◎ 公園が充実している。
- ◎ ゆったり、のんびりしている。
- ◎ 地域の繋がりが密接である。
- ◎ 災害が少ない。
- ◎ 子育てしやすい。
- ◎ 町へのアクセスが良い。
- ◎ お米等の農産物が美味しい。

チーム名：おとめ（1回目）

主な意見（ふせん数 10 件）

- ◎ 自然が豊かである（満濃池、星が綺麗、蛍がいる、ひまわり畑、そば畑等）。
- ◎ 地域のイベントが充実している（お祭り、花火大会）。
- ◎ 地域の繋がりが密接である。
- ◎ 田舎の温かさがある。
- ◎ 地域のボランティア活動が盛んである。

チーム名：女子力（2回目）

主な意見（ふせん数 23 件）

- ◎ 自然が豊かである（満濃池、星が綺麗、温泉、土器川、ひまわり畑、そば畑、かりん、桜）。
- ◎ 施設が充実している（キャンプ場、天文台等）。
- ◎ 地域のイベントが充実している（お祭り、モンスターバッシュ）。
- ◎ 地域の繋がりが密接である。
- ◎ 伝統芸能が継承されている。
- ◎ 子育てしやすい。

チーム名：翔んでまんのう（2回目）

主な意見（ふせん数 18 件）

- ◎ 自然が豊かである（満濃池、土器川、ひまわり畑）。
- ◎ 適度な田舎である（街部に近い）。
- ◎ 地域の繋がりが密接である。
- ◎ 文化財が豊富である。
- ◎ 子育てしやすい。

チーム名：MMITI（2回目）

主な意見（ふせん数 24 件）

- ◎ 自然が豊かである（満濃池、土器川、森林公園）。
- ◎ 水資源が豊かである（自主水源 100%）。
- ◎ 災害が少ない。
- ◎ 地域のイベントが充実している（お祭り、スポーツ大会）。
- ◎ 住民の人柄が良い（ほのぼの、穏やか）。
- ◎ 伝統芸能が継承されている。
- ◎ 公共サービスが充実している（移住、新築等に補助金）。

第2ラウンド（未来の確認）

「10年後、まんのう町は今と比べるとどこがどのように変わっていますか」

チーム名：ブランド（1回目）

主な意見（ふせん数 15 件）

- ◎ 自然を活用する（観光資源、ひまわり畑の増加）。
- ◎ 観光客の増加（映画の露ロケ地）。
- ◎ 人口増加（若年層の増加）。
- ◎ 出生数の増加。
- ◎ 高齢化が進む。
- ◎ 高齢者が活躍できるようになっている。
- ◎ 公共交通機関が充実している。
- ◎ 地域ブランド品の創出（ひまわり製品、ブランド米、ブランド野菜、ブランド肉）。
- ◎ 子どもが自由に遊べる施設が増加している。
- ◎ 自主防災組織の創出。

チーム名：グッドカントリー（1回目）

主な意見（ふせん数 13 件）

- ◎ 少子高齢化が進む。
- ◎ 移動手段がなくなる（高齢者）。
- ◎ 自治会活動に制約ができる
- ◎ 地域行事が継続できなくなる。
- ◎ 高齢者が働ける場所の確保。
- ◎ ブランド品の開発（ひまわりオイル）。
- ◎ 移住者が増加して活性化する。

チーム名：おとめ（１回目）

主な意見（ふせん数８件）

- ◎ 人口減少。
- ◎ 新幹線等交通機関の充実。
- ◎ 商業施設の増加。
- ◎ 移住者の増加。
- ◎ 観光スポットのPRが必要。
- ◎ 地域活性化事業の拡大。
- ◎ 見守りのネットワーク化が必要。
- ◎ 農業の活性化が必要。

チーム名：女子力（２回目）

主な意見（ふせん数１３件）

- ◎ 高齢化が進む。
- ◎ 独居高齢者が増加。
- ◎ 伝統の荒廃。
- ◎ 空き家の増加。
- ◎ 田園風景の減少。
- ◎ 学校の統廃合が進む。
- ◎ 文化的価値が上がる。
- ◎ ICT社会が進む。

チーム名：翔んでまんのう（２回目）

主な意見（ふせん数１４件）

- ◎ 高齢化が進む。
- ◎ 人口減少（若年齢層の転出増加）。
- ◎ 空き家の増加。
- ◎ 耕作放棄地の増加。
- ◎ 地域間格差の増大。
- ◎ 移動難民増加。
- ◎ 公共サービスの減少。
- ◎ スポーツ行事が継続できなくなる。
- ◎ 子育てしやすい町になっている。
- ◎ AI・RPA化の促進。
- ◎ 電車の開通。
- ◎ 教育の充実。

チーム名：MMITI（2回目）

主な意見（ふせん数16件）

- ◎ 高齢化が進む（コミュニケーション不足になる）。
- ◎ 人口減少（集落の消滅）。
- ◎ 耕作放棄地の増加。
- ◎ 地域間格差の増大。
- ◎ 移動難民増加。
- ◎ 有害鳥獣の増加（猪・猿）。
- ◎ 山林の荒廃。
- ◎ 労働者の変容（第1次産業従事者の減少。外国人労働者の増加）。
- ◎ 自然資源を用いた観光事業の展開（ひまわりの町）。
- ◎ 国保税の増加。

第3ラウンド（実現のための方策）

「このまちの魅力をさらに高めるためには何が必要だと思いますか」

チーム名：ブランド（1回目）

主な意見（ふせん数13件）

- ◎ ベッドタウン化の推進。
- ◎ 交通手段の確保（あいあいタクシー）。
- ◎ 街灯の増加。
- ◎ 自然をPRして観光を発展させる。
- ◎ 農業従事者の確保。
- ◎ 特産費・ブランド品の開発とPR（アンテナショップ増設）。
- ◎ ひまわり畑の拡大（ひまわりオイル、ひまわり牛の充実）。

チーム名：グッドカントリー（1回目）

主な意見（ふせん数11件）

- ◎ まんのう町の良さを守る。
- ◎ まんのう町でしかできないことを見つける（作る）。
- ◎ 子どもに地域愛を伝える。
- ◎ 仕事を作る。
- ◎ 若年層を増加させる（誘致：空き家等を活用）。
- ◎ SNSでPRする。
- ◎ ジビエ料理を開発する。

チーム名：おとめ（１回目）

主な意見（ふせん数 13 件）

- ◎ 福祉の充実（子どもを大切にする。高齢者が住みやすい町）。
- ◎ ジビエ料理の開発。
- ◎ ICT、SNS 等の活用（PR、インスタ映え）。
- ◎ 永住したいと思う制度を作る。
- ◎ 空き家・空地の活用。

チーム名：女子力（２回目）

主な意見（ふせん数 9 件）

- ◎ ブランド品の開発・認知度を上げる（ひまわりオイル・かりん化粧水）。
- ◎ インターネットを活用して PR。
- ◎ 廃校の活用。
- ◎ 伝統継承プロジェクトを発足。
- ◎ 住民参加型の取り組みを行う。
- ◎ 災害対策を充実させる。
- ◎ 農業の担い手の育成。

チーム名：翔んでまんのう（２回目）

主な意見（ふせん数 10 件）

- ◎ コミュニティの強化（オープンな地域コミュニティ）。
- ◎ 農地付住宅の提供。
- ◎ 自然体験の充実。
- ◎ 古民家カフェ等を作る。
- ◎ SNS の活用。
- ◎ 学生医療費・給食費無料化。

チーム名：M M I T I（２回目）

主な意見（ふせん数 17 件）

- ◎ ビジョンをもった開発を行う。
- ◎ 企業誘致。
- ◎ 大学誘致。
- ◎ 奨学金制度の創設。
- ◎ 子ども関連制度の充実（子どもを産めば得する制度）。
- ◎ 交通の利便性を高める。
- ◎ 新しい農産物を作る。
- ◎ 満濃池周辺整備。
- ◎ 町の特色を PR する（キャンプの町「まんのう」）。

2 まちづくりワークショップ

	参加者総数	一般参加者数	職員参加者数
1 回目 (AM)	23	9	14
2 回目 (PM)	22	9	13

(1) 全体的な意見

ラウンド	意見の傾向
①第1ラウンド (まんのう町の良さの確認) 「まんのう町の強み」「まんのう町の弱み」	【強み】 豊かな自然に恵まれているまちで、地域のつながりもしっかりとしている、自治会体制がしっかりしてることなどが多くあげられました。 医療・福祉の充実による高齢者の健康や子育て支援ができてることがあげられました。 【弱み】 少子高齢化、人口減少が進行していることなどが多くあげられました。 生活しやすいための施設（病院、買い物、レジャー等）が少ないということがあげられました。
③第2ラウンド (①の実現のための方策) 「どのようなことが実現すれば、よりよいまんのう町になるか」	地域コミュニティや農業などの後継者の育成を支援することなどが多くあげられました。そのためには、世代間交流を通した郷土愛育成教育が必要という意見もあげられました。 移動手段について、市町を越えた広域的な取り組みが必要という意見もあげられました。 若者の移住定住の推進のために、積極的な空き家情報や特産品（ひまわり、かりん等）の発信、地域ぐるみでの子育て支援の体制づくりが必要という意見もあげられました。

(2) 全意見【開催回のテーブルごと】

第1ラウンド（良さの確認）

「まんのう町の強み」

チーム名：まんのう再発見（1回目：環境ひとづくり部会）

主な意見（ふせん数 38 件）

- ◎ 自然が豊かである（そば畑・ひまわり畑が美しい、満濃池・河川がある、星が綺麗等）。
- ◎ 施設が充実している（まんのう公園等公園が多い、天文台がある、温泉が2つ、道の駅2つある、商業施設が充実している等）。

- ◎ 人間関係が良い（人柄が穏やか、人・地域の繋がりが強い、ふるさと・郷土愛が強い等）。
- ◎ インフラが充実している（光ファイバーケーブルが全戸にある、道路が整備されている、空港へのアクセスが良い、近隣市町にアクセスが良い等）。
- ◎ 農家が多い。
- ◎ 福祉が充実している（待機児童がいない）。
- ◎ 町産品のブランド力が高まっている（ひまわりオイル、ひまわり牛等）。

チーム名：美しい町づくり（1回目：環境ひとづくり部会）

主な意見（ふせん数 24 件）

- ◎ 自然が豊かである（緑豊かである、川が綺麗、蛍がいる等）。
- ◎ 農業が盛んである（ひまわり畑・そば畑がある、意欲的に農業に取り組んでいる等）。
- ◎ 健康・福祉に対する取り組みが充実している（健康指導がしっかり行われている、福祉が充実している等）。
- ◎ 地域の活動が盛んである（人の交流が盛ん、通学合宿等地域での活動が行われている、伝統文化・芸能を継承しようとしている等）。
- ◎ 教育が充実している（学校教育がしっかりしている、幼児教育が充実している、教育助成が充実している等）。
- ◎ 公共施設整備が行われている（道路が整備されている、川の整備がされている）。
- ◎ 住民の気質が大らかである。
- ◎ お米等の農産物が美味しい。
- ◎ 家を新築すると助成が受けられる。

チーム名：ひまわりグループ（1回目：安心安全部会）

主な意見（ふせん数 35 件）

- ◎ 災害が少ない。
- ◎ 治安が良い（街灯が多い）。
- ◎ 医療・福祉が充実している（子育て支援が充実、医療機関が多い等）。
- ◎ 地域の繋がりが密接である（近所同士で声かけ、見守りが行われている）。
- ◎ 防災対策が充実している（自主防災グループがある、避難訓練を行っている等）。
- ◎ 情報伝達の方法が充実している（ケーブルテレビ、無線）。

チーム名：安安（1回目：安心安全部会）

主な意見（ふせん数 22 件）

- ◎ 防災対策が充実している（ハザードマップがある、避難場所が多い、自主消防団が充実している等）。
- ◎ 自然が豊かである。
- ◎ 水が綺麗。
- ◎ 農産物が美味しい。
- ◎ 地域の繋がりが強い（自治会が機能している、祭り等で地域の団結力がある、隣近所の繋

がりが強い等)。

チーム名：ひまわり（２回目：創造改革部会）

主な意見（ふせん数 23 件）

- ◎ 自然が豊かである（ひまわり畑、蛍がいる、まんのう公園）。
- ◎ 特産品がある（ひまわりオイル、ひまわり牛、花梨商品）。
- ◎ 有名なうどん店が多くある。
- ◎ 著名人がいる（ダイヤのA寺嶋氏）。
- ◎ 有名なイベントを開催している（モンスターバッシュ）。
- ◎ 災害が少ない。
- ◎ 開発しやすい。

チーム名：あさドラ（２回目：創造改革部会）

主な意見（ふせん数 23 件）

- ◎ 施設が充実している（町の施設が多い、人が集まれる施設が多い、まんのう公園）。
- ◎ ブランド品がある（ひまわりオイル、ひまわり牛、いちぢく等）
- ◎ 自然が豊かである（ひまわり畑、満濃池・河川がある、水が綺麗、山林が豊か等）。
- ◎ 人間関係が良い（人柄が穏やか、人・地域の繋がりが強い、経験豊かな高齢者が多い等）。
- ◎ 利用できる空き家が多い。
- ◎ 上水道が100%普及している。

チーム名：M N N 47（２回目：地域資源部会）

主な意見（ふせん数 12 件）

- ◎ 自然が豊かである（満濃池、まんのう公園、キャンプ場）。
- ◎ 温泉がある（塩入温泉、みかど温泉）。
- ◎ 特産品がある（ひまわりオイル、ひまわり牛、うどん）。
- ◎ 災害が少ない。
- ◎ 住民の人柄が良い（穏やか）。
- ◎ JRの駅が2つある。

チーム名：班長大串（２回目：地域資源部会）

主な意見（ふせん数 14 件）

- ◎ 自然が豊かである（満濃池、公園が多い）。
- ◎ 学校が綺麗。
- ◎ 農作物が豊かである（米、アスパラガス、ひまわり等）
- ◎ 人との関係が良好である（穏やか）。
- ◎ ゆるキャラが可愛い。
- ◎ 人口が少なく住みやすい。

第2ラウンド（改善点の確認）

「まんのう町の弱み」

チーム名：まんのう再発見（1回目：環境ひとづくり部会）

主な意見（ふせん数 41 件）

- ◎ 公共交通機関（公共交通機関が少ない、車以外の移動手段が少ない等）。
- ◎ 人口問題（高齢化が進んでいる、人口減少、山間部の過疎化、満濃地区への人口集中、若者の流失等）
- ◎ 放棄地・遊休地の増加（山林が荒廃している、耕作放棄地が増加している等）
- ◎ 害獣問題（農作物の被害が大きい）。
- ◎ 空き家問題（空き家が増加している）。
- ◎ 少子化問題（子どもの数が減少している）。
- ◎ 施設の減少（高校・大学がない、医療機関が少ない、飲食店が少ない、商店が少ない、宿泊施設が少ない等）。
- ◎ 中学生等と住民の交流が少ない。
- ◎ 住民の意識が閉鎖的である。
- ◎ 廃校等の施設利用ができていない。
- ◎ インターネット環境が整っていない。

チーム名：美しい町づくり（1回目：環境ひとづくり部会）

主な意見（ふせん数 22 件）

- ◎ 公共交通機関（公共交通機関が少ない）。
- ◎ 放棄地・遊休地の増加（山林が荒廃している、竹林が増加している、耕作放棄地が増加している等）。
- ◎ 観光施設（飲食店が少ない、商店が少ない、宿泊施設が少ない等）。
- ◎ 害獣問題（農作物の被害が大きい）。
- ◎ 人口問題（少子高齢化が進展、高齢者の考え方が保守的、若者が少ない等）。
- ◎ 空き家問題（空き家が増加している）。
- ◎ 行政（町の PR が不十分）。
- ◎ 不法投棄が多い。

チーム名：ひまわりグループ（1回目：安心安全部会）

主な意見（ふせん数 43 件）

- ◎ 人口問題（少子高齢化が進展、高齢者の一人暮らしが増加、一人暮らしの増加）。
- ◎ 治安問題（山間部は暗い、街灯が少ない）
- ◎ 住民意識（災害に対する危機感がない、犯罪に対する危機感がない）。
- ◎ 人間関係（プライバシーがない）。
- ◎ 人材問題（リーダーが高齢化、次世代のリーダーが育っていない）。
- ◎ 自治会加入者の減少。

チーム名：安安（１回目：安心安全部会）

主な意見（ふせん数 35 件）

- ◎ 自然問題（ため池が老朽化、山間部が深く災害警戒区域が広い等）。
- ◎ インフラ（交通量に対して道路が狭いところがいくつもある、災害時に使用できる道路が少ない、災害時に道路が寸断されれば孤立してしまう地域がある等）。
- ◎ 人口問題（少子高齢化、若者が少なく限界集落がある等）
- ◎ 空き家問題（空き家が増加、放置されて危険な空き家が増加）。
- ◎ 地域の繋がり（自治会加入者が減少、自治会の弱体化、民生委員の高齢化・減少）。
- ◎ 防災問題（火災時に利用できる水源表示が少ない、避難所まで遠い等、ハザードマップの活用法が分からない）。
- ◎ 町の面積が広い。

チーム名：ひまわり（２回目：創造改革部会）

主な意見（ふせん数 21 件）

- ◎ 産業問題（主たる産業がない、ひまわりは町にお金を落とさない、花梨の商品化は継続？等）。
- ◎ 満濃池は観光資源としてブランド化されているとは言えない。
- ◎ まんのう公園の利用が少ない。
- ◎ 情報発信力が弱い。
- ◎ 町の面積が広い。

チーム名：あさドラ（２回目：創造改革部会）

主な意見（ふせん数 21 件）

- ◎ 産業問題（主たる産業がない、特産品が少ない、雇用・働ける場所が少ない等）。
- ◎ 行政の在り方・関わり（町外・県外への PR が足りない、地域おこし協力隊は役に立っていない、行政はアイデアが欠けている、住民が行政に頼りすぎる等）
- ◎ 交通手段（公共交通機関が少ない、高齢ドライバーが多い、車が無ければ生活できない等）。
- ◎ 人口問題（人口減少が顕著、少子高齢化が顕著等）。
- ◎ 人柄（住民の競争意識が弱い、事なかれ主義が多い）。

チーム名：M N N 47（２回目：地域資源部会）

主な意見（ふせん数 16 件）

- ◎ 交通手段（公共交通機関が少ない、電車の駅が遠い、車が無ければ生活できない等）
- ◎ 施設関連（医療機関が少ない、宿泊施設が少ない、レジャー・遊ぶ場所が少ない、買い物・スーパーマーケットが少ない、老朽化した施設が多い）。
- ◎ 人口問題（少子高齢化、少子化で学校が遠い）。

チーム名：班長大串（２回目：地域資源部会）

主な意見（ふせん数 14 件）

- ◎ 人口問題（少子高齢化）。
- ◎ 人材問題（地域のリーダー不足）。
- ◎ 経済問題（お金が落ちるところが少ない、特産品が少ない、土産物がない）。
- ◎ 害獣問題（農作物の被害が大きい）。
- ◎ 交通手段（公共交通機関が少ない、車が無ければ生活できない）

第2ラウンド（実現のための方策）

「どのようなことが実現すれば、よりよいまんのう町になるか」

チーム名：まんのう再発見（1回目：環境ひとづくり部会）

主な意見（ふせん数4件）

- ◎ 移動手段について、市町を越えた広域的な取り組みが必要。
- ◎ 世代間交流を通した郷土愛育成教育が必要。高齢者の活躍できる場づくりが必要。

チーム名：美しい町づくり（1回目：環境ひとづくり部会）

主な意見（ふせん数13件）

- ◎ 子育て、幼児教育、福祉保険、健康増進等について住民意識改革が必要。
- ◎ 後継者育成のために、若者の就労支援、農業者への補助金等が必要。
- ◎ 一斉清掃の回数を増やすことが必要。
- ◎ 公共施設の維持管理を充実させることが必要。

チーム名：ひまわりグループ（1回目：安心安全部会）

主な意見（ふせん数12件）

- ◎ 元気な高齢者を増やすために医療・介護の充実が必要。
- ◎ 地域を円滑に運営するために、自治会、地域のリーダーの育成が必要。
- ◎ やりがい・生きがいの創出を考え、地域で、自分たちが行っている行事等のアピールが必要。
- ◎ 若者の定住を図るために、地域ぐるみで子育てを行っていくことが必要。

チーム名：安安（1回目：安心安全部会）

主な意見（ふせん数8件）

- ◎ 自治会への加入が必要。互いに助け合う意識が必要。
- ◎ 自助での備蓄、意識改革が必要。
- ◎ インフラの整備が必要。

チーム名：ひまわり（2回目：創造改革部会）

主な意見（ふせん数5件）

- ◎ ひまわりについての差別化が必要。

- ◎ ひまわりのパッケージ化が必要。
- ◎ まんのう公園、満濃池を利用した販路拡大が必要。
- ◎ ショッピングモールを誘致するといった取り組みが必要。

チーム名：あさドラ（２回目：創造改革部会）

主な意見（ふせん数５件）

- ◎ 地域のPRとしてNHK朝ドラロケ地を誘致。
- ◎ 地域活性化のために教育施設、高校、大学の誘致。
- ◎ 若者誘致のために空き家情報の発信が必要。
- ◎ 既存の組織（行政）を強化し運営のあり方を検討。
- ◎ インターネット環境の整備、活用が必要。

チーム名：M N N 47（２回目：地域資源部会）

主な意見（ふせん数８件）

- ◎ 町外・県外の人との交流会。
- ◎ 廃校の利用の検討。
- ◎ 地場産業のアピール。
- ◎ 娯楽施設の誘致。
- ◎ 老健施設の充実。
- ◎ モンバスのようなイベント誘致。

チーム名：班長大串（２回目：地域資源部会）

主な意見（ふせん数１０件）

- ◎ ひまわり以外の花畑。
- ◎ 単価の高い農作物の栽培・販売とそのPR。
- ◎ 農業後継者の育成。
- ◎ 環境ボランティア養成。
- ◎ 情報交換の活発化。
- ◎ トレイルランニングレース再開。

3 中学生ワークショップ

	参加者総数	1 年生	2 年生	3 年生
(AM)	15	5	5	5

(I) 全体的な意見

ラウンド	意見の傾向
①第1ラウンド (まんのう町の良さの確認) 「あなたの暮らしの中で幸福や豊かさを感じることに」	自然が豊かである（緑豊かである、鳥がたくさんいる、花がたくさん咲く、蛍やカブトムシがいる、ひまわり畑がある、満濃池がある等の意見が多くあげられました。 地域住民・人間関係（地域の人優しい、人間関係が良い、交通立証に立ってくれる、挨拶ができている治安が良く、安心して出かけられる等の意見が多くあげられました。 農産物や特産品が豊富（おいで米、アスパラガス、うどん、ひまわりコロッケがおいしい、うどん屋が多い等の意見が多くあげられました。 伝統芸能がある（綾子踊り、うらやすの舞）、偉人・レジェンド（空海、二宮忠八等有名人）が多いという意見もあげられました。
②第2ラウンド (①の実現のための方策) 「今後のまんのう町のために、誰がどのような役割をはたしたらよいかということ」	農業の振興のために、農業体験や品種改良をすすめる等の意見が多くあげられました。 農作物や特産品のPRのために、ひまわり畑でイベントを行う、田んぼアートをおこなう等の意見もあげられました。 まちの活性化のために、観光スポットを作る（紅葉スポット等）、写真（インスタ栄えする）スポットを作る、交通の便をよくして観光客を呼び込むという意見が多くあげられました。

第1ラウンド（良さの確認）

「あなたの暮らしの中で幸福や豊かさを感じることに」

チーム名：1 年生

主な意見（ふせん数71 件）

- ◎ 自然が豊かである（ひまわり畑がある、満濃池がある、田畑があつてのどか等）。
- ◎ 施設が充実している（まんのう公園、図書館、スポーツセンターがある等）。
- ◎ 人間関係が良い（人柄が穏やか、地域の人みんな優しい、子どもが多い等）。
- ◎ 農産物が豊富（おいで米がうまい、アスパラガスがうまい等）。

- ◎ 特産品が豊富（うどん屋が多い、うどんがうまい、ひまわりコロッケがうまい等）。
- ◎ 伝統芸能がある（綾子踊り、うらやすの舞がある）。
- ◎ 災害（災害が少ない、災害対策が充実している）。
- ◎ 偉人・レジェンド（空海、二宮忠八等有名人が多い）。
- ◎ 情報（ケーブルテレビがある、広報で地域の取り組みがよく分かる）。
- ◎ イベント（モンスターバッシュがある）。

チーム名：2年生

主な意見（ふせん数43件）

- ◎ 自然が豊かである（緑豊かである、鳥がたくさんいる、花がたくさん咲く、蛍やカブトムシがいる、ひまわり畑がある、満濃池がある等）。
- ◎ 地域住民・人間関係（地域の人が優しい、人間関係が良い、交通立証に立ってくれる、挨拶ができています等）。
- ◎ 災害（災害が少ない、交通事故が少ない）。
- ◎ 交通設備（道が整備されている、歩道が整備されている、駅がある）。
- ◎ 施設が充実している（病院が近くにある、公園が多い、うどん屋が多い）。
- ◎ 公共施設整備が行われている（学校にエアコンがついている）。
- ◎ 食べ物（給食が美味しい、ひまわり牛が美味しい、野菜が美味しい、うどんが美味しい）。
- ◎ 小学校がたくさんある。
- ◎ 安心して暮らせる。

チーム名：3年生

主な意見（ふせん数51件）

- ◎ 自然が豊かである（緑豊かである、ひまわり畑がある、空気が美味しい、土器川の桜が綺麗等）。
- ◎ 治安が良い（警察官が優しい、安心して暮らせる、自転車通学でも安心できる、安心して出かけられる等）。
- ◎ 交通・アクセス（どこに行くのも便利、交通の便が良い等）。
- ◎ イベント（モンスターバッシュの知名度が高い、まんのう公園のイルミネーションが綺麗、公民館でのイベントがある等）。
- ◎ 災害・防災対策（災害が少ない、避難訓練が行われている等）。
- ◎ 公共施設整備（学校にクーラーがある等）。
- ◎ 教育（海外学習の機会がある、教育が充実している）。
- ◎ 地域（地域の結びつきが強い、地域の関わりが強い、地域の特色がある、地域のボランティア活動が盛ん等）。
- ◎ 食べ物（野菜が美味しい、うどんが美味しい、猪肉が食べられる）。

第2ラウンド（今後の展望）

「今後のまんのう町のために、誰がどのような役割をはたしたらよいかということ」

チーム名：1年生

主な意見（ふせん数14件）

- ◎ 交通網を発達させる。
- ◎ 農家を増やす。
- ◎ 農業体験を行う。
- ◎ 品種改良を行う。
- ◎ ひまわり維持活動を行う。
- ◎ 偉人の記念館・書籍を作る。
- ◎ 綾子踊り大会を開催する。
- ◎ 空気清浄機活動を行う。
- ◎ 新しい美味いを作る。
- ◎ 伝統芸能の町にする。

チーム名：2年生

主な意見（ふせん数18件）

- ◎ 10年毎に同窓会をする。
- ◎ 町民体育祭を行う。
- ◎ ボランティア活動を受け継いでいく。
- ◎ 技術を受け継いでいく。
- ◎ ひまわり畑に名前を付ける。
- ◎ ひまわり畑で大きなイベントを開催する。
- ◎ ひまわりを使った新商品を開発する。
- ◎ 田んぼアートを行う。
- ◎ 改善したものについてアンケート調査を行う。
- ◎ 挨拶を促進する。

チーム名：3年生

主な意見（ふせん数24件）

- ◎ まんのう町を代表するイベントを開催する。
- ◎ 観光スポットを作る（紅葉スポット等）。
- ◎ 写真（インスタ栄えする）スポットを作る。
- ◎ 観光産業を発展させるため、ひまわり、自然等をアピールする。
- ◎ 交通の便を良くして観光客を呼び込む。
- ◎ 観光客用の看板を設置する。
- ◎ 働く場所を増やす。

- ◎ 継続的に木を増やす。
- ◎ 空き家をなくす。
- ◎ 農家を増やす。
- ◎ ひまわり畑周辺の施設整備を行い観光客が訪れやすくする。
- ◎ ひまわりオイル等のインターネット販売を行う。
- ◎ 空き家を減らす。
- ◎ 押しボタン信号機を増やす。
- ◎ ゴミをリサイクルする。
- ◎ 清掃ボランティアを増やす。

第3章 総括

第1節 住民意見交換会から得られたまんのう町の特徴

3種類の住民意見交換会から得られたまんのう町の特徴について、内部環境としての“強み”“弱み”、外部環境としての“機会”“脅威”の4つの視点から整理すると、以下のようになります。

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	強み=Strengths ◇豊かな自然にあふれている ◇日本一のため池、満濃池がある ◇食べ物がおいしい ◇地域のつながりが強い（自治会体制等） ◇活用できる農産物があり、加工品への展開が可能 ◇特産品（ひまわり、かりん等）のブランド力が高まっている	弱み=Weaknesses ◇少子高齢化の進行 ◇人口減少の進行 ◇独居高齢者の増加 ◇遊休耕作地の増加、有害鳥獣の増加 ◇街灯が少なく夜間は道路が暗い ◇自治会やボランティアの担い手の減少 ◇公共交通の利便、買い物利便に課題 ◇多世代交流の推進に課題
外部環境	機会=Opportunities ◇満濃池に関するイベントによる観光入込客数の増加（モンスターバッシュ、イルミネーション等） ◇災害が少ない ◇ICTの進歩と普及 ◇定住自立圏における広域的施策の推進	脅威=Threats ◇他自治体へのヒト・モノ・カネの流れ ◇自治体間競争の激化 ◇自然災害への備え（地震、台風）

こうした特徴の把握を前提に、まんのう町のこれからのまちづくりについて考えるとき、次のような課題を見出すことができます。

	機会 O	脅威 T
強み S	◆若い世代の移住・定住促進（住） ◆地域資源を活かした交流促進 ◆安定した雇用の創出	◆地域の基盤整備促進（道路、街灯等） ◆空き家や耕作放棄地の整備による移住・定住促進 ◆移動困難者の移動手段の充実 ◆郷土愛の醸成 ◆地域コミュニティの担い手の確保
弱み W	◆町内農産物のPRと販路充実 ◆町内特産物のPRと販路充実 ◆町の魅力発信の強化 ◆災害対策の推進	◆創業支援や就農支援による新たな担い手の確保・育成 ◆災害対策の推進

第2節 住民意見交換会から得られた総括

3種類の住民意見交換会から得られたまんのう町のまんのう町の良さは、「自然」や「地域のつながり」や「豊富な特産品や農産物」などに見出している意見が多くみられました。

10年後、まんのう町は今と比べるとどこがどのように変わっているか、という点では、「少子高齢化が進み、人口減少の影響」が大きくなることに不安を感じている意見が多く見られました。

また、人口減少や少子高齢化という、全国的に顕著な課題である問題に対して、「空き家や耕作放棄地の増加」、「伝統文化の継承者不足」、「自治会の担い手の高齢化やなりて不足」など、日々の生活で感じていることと直結していると感じていることがうかがえました。

まんのう町の魅力をさらに高めるためには何が必要か、ということでは、「まんのう町が誇る特産品や自然環境、住みやすさを SNS などを活用して PR していくことで、まんのう町に住みたいという人を増やしていきたい」という意見が多くみられました。

それぞれの住民意見交換会で意見を交換したのち、それぞれの会の最後に参加者で共有したことは以下の通りです。

現在まんのう町にあるもの（地域資源）の良さを確認し、活用をすすめることで、今感じている不安要素も、まんのう町の魅力向上に転じることができる、ということに参加者で共有しました。

まんのう町にいつまでも暮らしたい、という人を増やすためにも、持続可能な地域社会づくりが今後のまちづくりのキーワードとなるといえます。

